

グランドファザーズ・レター講演会の開催について

2014年教科書改訂に伴い、昨年度から文部省選定の高校英語の教科書（三省堂CROWN English II）第10章に、グランドファザーズ・レター（以下GFL）が紹介されています。全10ページ、フルカラーで、カカの生い立ちに始まり、2つの大戦の狭間に生きた波瀾万丈の生涯、離れ離れに暮らす孫たちへの想いが心をつないだ絵手紙とともに綴られています。

委員会設立以来、GFLに内在する肉筆によるコミュニケーションの温かさや家族の絆の大切さを、出版を皮切りに、各地での展覧会や絵手紙教室の実施、メディア展開を通じて伝えてまいりました。シニア層だけでなく若者たちに普及啓蒙することは、プロジェクトの大きなミッションとして捉えていたので、今般、高校2年生の教科書への掲載が実現したことは、GFLの持つメッセージを青年層に発信するための大きな原動力になるものと期待しています。

このモメンタムを活かして、全国の高校生を対象とした巡回講演会（または特別授業）を実施しています。すでに東洋英和学院、晃華学園、慶応女子校、桐蔭学園4校にて試行実施し好評を博しました。まずは授業学習の一環として或は課外活動として、そのような講義を受け入れて頂ける高校を探したく、ご相談申し上げる次第です。

講演会は、絵手紙の主ヘンリー・ソーンヒル卿のひ孫にあたるチャールズ・グラマルディ氏のビデオメッセージに始まります。その後、英国から持ち込まれたGFLアルバム現物（英国の文化財）を見ながら、動乱の時代に遠く離れたインドで過ごす孫たちへの愛の記録を、学生とともに紐解いていきます（進行役は松任谷愛介（在ロンドン））。終盤には、時間が許す限り、英国のグラマルディ氏本人とネット生中継を行い、学生との質疑応答を企画します。

高校2年の学生諸氏にとっては、100年前の英国文化財であるGFLアルバムを目の前にして、しかも親族の方から説明していただくという貴重な時間となります。教育面からも、教科書で学習する内容を身近に感じて頂くこととなります。また、生きたクイーンズイングリッシュに触れることのできる、またとない機会ともなりましょう。

GFLが教科書に掲載される残り4年間に、趣旨にご賛同いただく全国の高校をできるだけ多く回り、GFLが持つ温かいメッセージの普及啓蒙に引き続き務めて参りたく存じます。どうぞご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

記

タイトル グランドファザーズ・レター講演会 “About my Great-grandfather, Kaka”

講演者 松任谷愛介（グランドファザーズレター実行委員会代表）
Charles Grimaldi （Sir Henry Thornhill の曾孫）

実施時期 2017年9月～2018年3月

講演時間 60~90分（学校側の事情に合わせて柔軟に対応します）

対象 全国の高校ならびに関連教育機関
（三省堂 CROWN 教科書を使用していない高校でも実施を承ります）

費用 3万円（要相談）＋交通費

後援（予定） 英国大使館・日本郵便会社・三省堂 他予定

ご連絡先 グランドファザーズ・レター実行委員会（担当：馬野）
www.gfljapan.com
info@gfljapan.com

過去の実績

[東洋英和学院での講義] 実施時期 2015年1月



朝の礼拝でチャペルに集まった全学生に対してご挨拶と趣旨説明、その後、教室にて英語授業（2年生を対象）として講義を行いました。

[晃華学園での講義] 実施時期 2015年1月



講堂に1年生2年生を集めて英語授業の一環として講義を実施。右はアルバムを前に興味津々覗き込む学生たち。

[桐蔭学園での講義] 実施時期 2016年11月



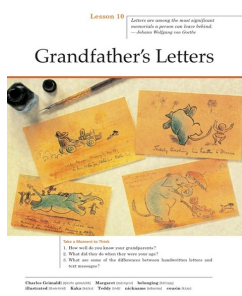
英語授業として講義を実施。ネット生中継でグラマルディ氏と質疑応答。その後ランチ時には学生たちはアルバムを手にして真剣に覗き込みました。

[慶応女子校での講義] 実施時期 2015年1月



学生たちによる手作りのイベントとして土曜日にホールにて開催。司会進行も学生の手により進められました。

教科書 CROWN's ENGLISH II (10章)



Charles Grimaldi 氏



松任谷愛介（司会進行）

